

③ 建設候補地の評価

評価項目	評価内容等	1 市民センター西側	2 総合運動公園付近	3 現西根中学校	4 現松尾中学校	比較結果等
1 建設用地	教育方針や総合計画等に柔軟に対応する校舎等の配置が可能であり、良好な日照が確保できるなど快適な教育環境を確保できるか。	◎ 敷地面積:約40,000㎡ 南東向きL字型に校舎を配置計画するため良好な日照確保が可能。	◎ 敷地面積:約40,000㎡ 南向きに校舎を配置計画するため良好な日照確保が可能。	◎ 敷地面積:約50,000㎡ 南東向きL字型に校舎を配置計画するため良好な日照確保が可能。	○ 敷地面積:約39,000㎡ 増築する校舎は、南向きだが南側に既存校舎があるため、日照確保に一部制約がある。	4候補地とも十分な敷地面積の確保は可能である。 現松尾中学校案は、日照確保に一部制約がある。
2 開校予定年度	生徒数の減少により生じている教育や学校運営上の諸問題を解決するとともに教育環境の整備や教育の質の向上を図るため、早期の開校が可能であるか。	△ 優先候補地の決定から概ね8年程度 開校予定年度:令和16年度	△ 優先候補地の決定から概ね8年程度 開校予定年度:令和16年度	○ 優先候補地の決定から概ね5年程度 開校予定年度:令和13年度	◎ 優先候補地の決定から概ね4年程度 開校予定年度:令和12年度	市民センター西側案、総合運動公園付近案は、土地の状況(相続、権利設定)による用地取得や地質調査の結果による地盤改良の期間など、開校まで8年以上かかる可能性がある。
3 学校周辺に利用可能な公共施設等があるか	学校周辺に、部活動やスポ少等の利用可能な公共施設があるか。また、放課後など学校以外に生徒が保護者等の送迎を待つスペースは確保できるか。 ① 利用可能な公共施設 ② 送迎を待つスペースの確保	◎ ①総合運動公園:約1.5km ②西根地区市民センター:約0.2km	◎ ①総合運動公園:約0.6km ②総合運動公園体育館:約0.6km	◎ ①総合運動公園:約2.2km ②交流複合施設(8テラス):約1.1km	◎ ①アリーナまつお、B&G:約0.2km ②松尾コミセン:約0.2km	いずれの候補地も利用可能な公共施設が概ね2km程度にある。
4 スクールバス利用生徒数等	令和16年度生徒見込数(265人)で試算 ①スクールバスの利用率・生徒数 ②スクールバス運行見込み台数(乗車定員32人/台で試算) ③スクールバス維持管理費見込(維持費実績により試算:15,000千円/台)	◎ ①36.2%(96人/265人) ②3台 ③45,000千円/年	○ ①47.5%(126人/265人) ②4台 ③60,000千円/年	◎ ①32.4%(86人/265人) ②3台 ③45,000千円/年 ※令和13年度生徒見込数(320人)	△ ①80.8%(214人/265人) ②7台 ③105,000千円/年 ※令和12年度生徒見込数(349人)	市民センター西側案と現西根中学校案は、生徒の多い大更地区に位置していることから優位性がある。 現松尾中学校案は、スクールバスの利用率が約80%と見込まれ、学校運営への支障が懸念される。
5 通学路の確保や送迎車両のアクセス	①徒歩・自転車の安全な通学路が確保でき負担が少ないか。 ②主要道路からのアクセスが良好で送迎車両等の出入りが容易であるか。	◎ ①周辺道路には、歩道が整備されている。 ②車両等の出入りは容易である。	○ ①周辺道路には、歩道が整備されている。 ②車両等の出入りを容易にするため、国道に右折レーンが必要となる可能性が高い。	◎ ①周辺道路には、歩道が整備されている。 ②車両等の出入りは容易である。	◎ ①周辺道路には、歩道が整備されている。 ②車両等の出入りは容易である。	総合運動公園付近案は、交差点警察協議、道路管理者との協議によるが、交通解析の結果、国道282号線に右折レーンが必要になる可能性が高い。
6 学校生活・生徒の安全確保	①学校生活における生徒の安全・安心の確保ができるか。 ②工事期間中の学校運営への影響や生徒への安全配慮が可能であるか。	◎ ①八幡平幹部交番:約0.5km 八幡平消防署:約0.4km 市立病院:約2.1km ②学校運営への影響がなく、生徒への安全配慮の必要がない。	◎ ①八幡平幹部交番:約1.3km 八幡平消防署:約1.2km 市立病院:約1.9km ②学校運営への影響がなく、生徒への安全配慮の必要がない。	△ ①八幡平幹部交番:約1.5km 八幡平消防署:約1.5km 市立病院:約1.7km ②学校運営への影響がある。十分な安全配慮ができない。	△ ①松尾駐在所:約1.9km、 消防署松尾出張所:約2.0km 東八幡平病院:約6.8km ②学校運営への影響がある。十分な安全配慮ができない。	現西根中学校案、現松尾中学校案は、学校敷地を利用するため、工事期間中の利用制約や安全確保に注意が必要となる。
7 自然災害に対する安全性	土砂災害等警戒区域や岩手山火山泥流区域など自然災害に対して安全性が高い候補地であるか。	△ 岩手山火山泥流区域となっており、岩手山が噴火した場合は地域防災計画に基づき人的被害を防止するため警戒避難体制の整備が必要となる可能性がある。	◎ 岩手山火山泥流や土砂災害に対して安全性が高い。	○ 敷地の一部が、土砂災害警戒区域となっているが、校舎建設予定地は区域外であり対策を講ずる必要はない。	△ 岩手山火山泥流区域となっており、岩手山が噴火した場合には地域防災計画に基づき人的被害を防止するため警戒避難体制の整備が必要となる可能性がある。	岩手山火山泥流や土砂災害に対しては総合運動公園付近案が優位性がある。
8 用地取得	用地取得が容易であるか。	○ 地権者約10名 (うち相続有:約2名)	○ 地権者約9名 (うち相続有:約2名・市外居住者:約2名)	◎ 市有地	◎ 市有地	現西根中学校案と現松尾中学校案は、市有地であり用地取得が不要である。
9 インフラ整備や土地規制等	①インフラ整備が容易であるか ②土地規制の許可が容易であるか。	○ ①用地造成が必要となる。 ②開発許可、農振解除・農地転用等の手続きが必要となる。	△ ①用地造成、上下水道の整備が必要である。 ②開発許可、農振解除・農地転用、林地開発の手続きが必要となる。	◎ ①整備済みである ②手続きが不要である。	◎ ①整備済みである ②手続きが不要である。	総合運動公園付近案は、上下水道の整備区域外であり浄化槽等の設備費用が増加する。 現西根中学校案と現松尾中学校案は、学校敷地内でありインフラ整備や土地規制等の許可が不要である。
10 概算工事費	概算工事費(千円)	△ 概算工事費 5,838,000千円	△ 概算工事費 5,832,000千円 ※右折レーン工事費及び上下水道整備費を含まない。	○ 概算工事費 5,351,000千円 ※解体工事費を含む。	◎ 概算工事費 2,484,000千円 ※長寿命化改修工事費を含まない。	既存校舎を利用し、不足分を増築する現松尾中学校案は優位性があるものの築37年ほど経過しており、長寿命化改修の基準とされる、築40年を迎えることも考慮する必要がある。

◎ 5

○ 2

△ 3

◎ 4

○ 3

△ 3

◎ 6

○ 3

△ 1

◎ 6

○ 1

△ 3

